

超スマート社会における災害対応の成果発表会

防災情報サービスプラットフォームで 『災害情報』を極める！

2019年3月15日(金)

成果発表会 13:00~16:55 (開場 12:30)
意見交換会 17:30~ ※希望者のみ

会場: ベルサール神田
東京都千代田区神田美土代町7
住友不動産ビル3F 1+2会議室
https://www.bellesalle.co.jp/shisetsu/tokyo/bs_kanda/access/

主催: 国立研究開発法人防災科学技術研究所
参加費: 無料 (定員 150人)

開催趣旨

国立研究開発法人防災科学技術研究所は、災害情報を必要な形で提供することで自治体の災害対応を効率化し、地域のレジリエンス力向上に貢献できる情報サービスプラットフォームを構築しています。そのプラットフォームの利活用を全国に展開するために、自治体や研究機関、企業、Civic Techらによる産官学連携の取り組みを続けてきましたが、今年度の成果発表会を3月15日(金)に開催します。プログラム1~2で防災情報サービスプラットフォームを活用した様々な取り組み事例について報告いただくとともに、3~4ではより高度な災害情報の利活用に向けた最新のプロジェクトについて発表いたします。本成果発表会の内容は、すべてストリーミング配信いたします。遠方で会場にお越しただけの方は、是非ご自宅や職場でご視聴ください。

ストリーミング配信について

当日の様子は、インターネットを通じてストリーミング配信いたします(アーカイブには残さず同時中継のみ行います)。視聴希望者は、必ず下記よりストリーミング配信の事前申し込みを済ませておいてください。直前での申し込みはできない場合があります。

下記いずれかより、お申し込みをお願いいたします。

○会場参加申し込み <https://pro.form-mailer.jp/fms/131e3efc164995>



○ネット視聴申し込み <https://bosai.livestreamcloud.jp/>



※読み取り間違いのないよう
ご注意ください。

過去から未来へ、災害対応が変わる

プログラム



13:00

開会の挨拶

防災科学技術研究所災害過程研究部門 レジリエント防災・減災研究推進センター
主幹研究員 須藤 三十三

01



13:15

14:00

これまでの取り組みを振り返ろう

- ・防災情報サービスプラットフォームにおけるデータレイク的设计思想
株式会社アクアシステムズ テクニカルコンサルタント 奥田 裕史
- ・パイロット自治体の取り組み～奈良県橿原市の先進事例の紹介～
NTT ラーニングシステムズ株式会社 インタラクティブコミュニケーション事業部
ソリューション部門 マネージャー 杉山 昌弘
- ・防災科研クライシスレスポンスサイトによる災害情報の発信
防災科学技術研究所総合防災情報センター(兼)
レジリエント防災・減災研究推進センター研究員 吉森 和城

02



14:00

15:00

これが、今期の注目プロジェクトだ

- ・平成30年7月豪雨のふりかえり調査をふまえた防災・減災に向けたデータ活用提言
一般社団法人データクレイドル 理事 大島 正美/倉敷市建設局長 原 孝吏
- ・宮崎県西諸地域における多機関連携構想に向けて
西諸広域行政事務組合消防本部警防指令課長 鬼川 雄治
- ・異なる組織が協働する災害対応訓練におけるICTの活用
立正大学大学院教授 後藤 真太郎

休憩 15分

03



15:15

16:15

これまでの成果を生かした民間による挑戦

- ・MaaSにおける防災情報サービスプラットフォームの社会実装に向けて
自動車技術会フェロー 今井 武
- ・モバイル端末における災害予測情報の共有とその活用方法
ソフトバンク株式会社 ビッグデータ戦略本部 本部長/
株式会社 Agoop 代表取締役社長(兼)CEO 柴山 和久
- ・「防災情報 SPF」を利用した道路情報調査および展開
グローバル・サーベイ株式会社 代表取締役社長 菅原 清

04



16:15

16:55

本音トーク「災害対応はどこまで変化するのか!？」

- ・防災情報サービス、どう進化するのか
防災科学技術研究所地震津波防災研究部門(兼)災害過程研究部門・副部門長(兼)
国家レジリエンス研究推進センター 主幹研究員 鈴木 進吾
- ・ゲーム?新たな訓練システムサービス
兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科准教授 馬場 美智子
- ・マルチハザード、訓練状況付与の自動生成を目指して
千葉大学大学院 工学研究院融合理工学府都市環境システムコース准教授 丸山 喜久



16:55

閉会の挨拶

防災科学技術研究所地震津波防災研究部門(兼)災害過程研究部門・副部門長(兼)
国家レジリエンス研究推進センター 主幹研究員 鈴木 進吾



17:30

意見交流会 (希望者のみ:参加費 5000円)